



2023年11月14日

花王株式会社

NANO MRNA 株式会社

花王とNANO MRNA mRNA 医薬品創薬に向けた包括共同研究契約を締結

花王株式会社(代表取締役社長 長谷部佳宏、以下花王)とNANO MRNA 株式会社(代表取締役社長 秋永士朗、以下 NANO MRNA)は、花王が独自開発した免疫制御技術「SNAREVAX(スネアボックス)™」*1を用いた、メッセンジャーRNA (mRNA) 医薬品の創薬に向けた包括共同研究契約を締結しました。

*1 抗原に対して特定のタンパク質を融合した核酸配列設計を採用することで、その抗原に対する免疫応答を促進することが期待される技術のこと。「SNAREVAX™」は花王が商標登録出願中です。

花王はこれまで、界面科学や生命科学などに関する長年の研究資産を活用し、清潔・健康・美の実現に向けたさまざまな製品開発を行ってきました。今回、生命科学領域の研究を深化させ、mRNA 医薬品に応用可能な免疫制御技術を生み出しました。

NANO MRNA は、医薬品開発における豊富な知見を持つ mRNA 医薬品創薬のパイオニアとして、mRNA 医薬品候補の創出に特化した事業を推進しています。新たな技術を持つパートナーとの協働等による創薬活動を通じ、人々が必要とする mRNA 医薬品を届けることをめざしています。

花王は、新技術を活かすパートナーとして NANO MRNA に注目しました。mRNA 医薬品で世界の患者へ貢献したいという両社の思いが合致し、2022年から、新規 mRNA 医薬品開発に向けた SNAREVAX™の有効性検証を共同で実施。本技術が優れた免疫制御機能を有することを確認してきました。

本包括共同研究では、SNAREVAX™を用い、アレルギー疾患をはじめとした領域において画期的な mRNA 医薬品創薬に向けた研究開発を推進します。アレルギー疾患は世界的な社会課題の1つで、罹患すると著しい QOL 低下を招くだけでなく、喘息の発作や食物アレルギーによるアナフィラキシーなど重篤な症状を引き起こすこともあります。世界アレルギー機構(WAO)によると、世界では、2.4~5.5 億人が食物アレルギーに罹患しており、世界の子供の 40~50%が1つ以上のアレルゲンを持つと報告されています。また、先進工業国では 50 年以上にわたりアレルギー疾患の有病率が上昇し続けています*2。

*2 WAO White Book on Allergy 2013 update

今後、両社は、既存の医薬モダリティ(治療法)では十分な治療効果を得られない疾患に悩む人々への貢献をめざし、研究開発を推進していきます。

花王株式会社 概要

代表者 : 代表取締役社長 長谷部佳宏
所在地 : 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 14 番 10 号
従業員数(連結) : 35,411 名(2022年12月31日現在)
事業内容 : 「ハイジーン&リビングケア」「ヘルス&ビューティケア」「ライフケア」「化粧品」のコンシューマープロダクツ事業、産業界のニーズに対応したケミカル事業を展開。「豊か

な共生世界の実現」をパーパスに、「Sustainability as the only path」と「未来のいのちを守る」をビジョンに掲げた中期経営計画を推進しています。

NANO MRNA 概要

- 代表者 : 代表取締役社長 秋永士朗
- 所在地 : 東京都港区愛宕二丁目 5 番 1 号
- 役職員数(連結) : 28 名(2023 年 3 月末現在)
- 事業内容 : 新たな治療技術として注目される mRNA に特化した IP Generator 企業です。mRNA 医薬品の研究開発に国内企業に先駆けて取り組んできた経験と実績及びこれまでに築いた豊富なネットワークを生かして、効率的に複数の mRNA 医薬品の創薬及び知財獲得を進め、臨床開発ステージに入る時点までに、臨床開発を実施可能な製薬企業にライセンスアウトします。